

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年12月15日(15:00~)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	小規模多機能ホームスタッフ8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人			10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントツールの再認識をおこなう。又、新規利用者に対してはアセスメント回数を増やし、情報量を増やしスタッフに周知したい。 業務内容の検討を行い個別の関わり(個別ケア)の充実を図りたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 申し送り、月1回の定期カンファレンス以外にミニカンファレンスを設けた。 サマリ等で周知している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	5	1		10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10			10
③	本人がまだ慣れていない時に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	2	7	1		10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	9			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	利用開始前に、本人のニーズや家族の希望をミーティングやカンファレンス等で情報の共有ができる。
③	他の利用者との関係づくりも配慮し声かけも行っている。
④	本人や家族の要望等を聞き誠意をもって対応している。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①	新規利用者の情報不足や利用開始後に新しい情報が入り、急遽対応を迫られた。
②	本人の意向、家族からの反応が不明。
③	本人の意向より家族の意向が優先されてしまう事があった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用開始前に管理者だけではなく、スタッフも付き添い本人や家族からの情報を聞きとり、支援を考える。 ・カンファレンスやミーティングを活用し、情報の共有を継続する。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 12月 15日 (15:00 ~)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	小規模多機能ホームスタッフ8名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	7人	2人		10人

前回の改善計画
業務内容や人員の配置の見直しを行い、個別ケアの徹底・実施をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
個別ケアに対しては業務内容に組み込み、担当を決めることで取り組むことができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかつていますか？		9	1		10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？		9	1		10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		8	2		10
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1	7	2		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①～③毎月ケアプランを見直し目標に向けた支援ができる。	
④コミュニケーションを通じて利用者のニーズを把握し、次に生かせるよう努力している。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①その都度、その都度のニーズは把握できるが、最終目標までの把握が難しい。	
②個別ケアの徹底ができていない。	
③個々の利用者にきめ細かく対応する時間づくりができるない為、利用者とゆっくりした会話ができるいない。	
④認知症の利用者に対してニーズの把握や意思の疎通が困難なことがあり、実現が難しいことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・喫茶(火・金)の日に、午後のレクレーションの代わりに利用者とゆっくり話す時間を設け、ニーズの把握や支援を行うようにする。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 12月 15日 (15:00 ~)
3. 日常生活の支援	メンバー	小規模多機能ホームスタッフ8名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか？		9人	1人		10人

前回の改善計画
自宅での以前の暮らし方の把握においては、独自のアセスメントツールの作成・聞き取り・実施を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
アセスメントツールの作成を行い、定期的に担当者が聞き取りを行った。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		1	9		10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	7			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		8	2		10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	7			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	7	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①利用者の状況に応じ、入浴や食事の提供を行えている(女性対応・清拭・減塩食・ミキサー食…等)。	
④利用者の体調の変化や異常に気付いた際はすぐに管理者・看護師に報告を行えている。	
⑥状況に応じて、すぐに医師への相談・報告を行い受診に行くようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①③アセスメントツールや聞き取りの不足により、利用者によっては“以前の暮らし方”的把握が10個以上は把握できていない。そして、ミーティングでも本人の声にならない声を十分といれるほど言語化されていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・フェイスシートの更新を行い、スタッフ全員が閲覧・活用できるようにする。 ・アセスメントツールの聞き取りを継続する。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年12月15日(15:00~)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	小規模多機能ホームスタッフ8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?		8人	2人		10人

前回の改善計画
・民生委員や地域資源の把握も、独自のアセスメントツールの作成を行い把握する。 ・地域との関係についても、具体的にケアプランに反映させる。
前回の改善計画に対する取組み結果
民生委員や地域資源の把握は管理者に任せきりになってしまった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		4	6		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		7	3		10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	5		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	7		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①面会時のお茶出しの際に積極的に声をかけたり、必要時には電話をかけ会話をするようになっている。 ②毎月のお手紙や日々の連絡帳を活用し、家族との関係性をつくっている。 ④毎月のデイサロンを活用し、地域との関係をつくっている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
③家族によって反応がなかったり、少なかつたりされるため、関係性がつくれない。 ④民生委員・地域資源の把握ができない職員がいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・スタッフの地域資源に対する知識を深める。 ・地域のイベントなどの地域資源となりうる情報を開示する。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年12月15日(15:00~)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	小規模多機能ホームスタッフ8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?		9人	1人		10人

前回の改善計画
・カンファレンスや内部研修等で地域資源の把握・利用方法・活用事例等を学ぶ機会を設け、支援に繋げる。 ・独居利用者の支援については、カンファレンスや内部研修等で地域資源の活用や小規模多機能居宅介護の支援の在り方を十分に学び、スタッフ全員が共通理解を持ち支援を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		9	1		10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	5			10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	6			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	6			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②本人の状態や家族の要望に応じて、『通い』『泊まり』『訪問』を柔軟に対応できている。	
③④本人の状態の変化にも、申し送り・ミニカンファを利用し情報の共有を行えている。そして、その日・その時、本人に対し柔軟な支援ができる。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①地域資源の把握・活用法がよくわからず、自らの事業所のみで対応となるので難しいことがある。 長期泊まりの利用者が多いため、独居利用者に対して人員・時間の面でも支援に限界がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・2ヵ月に1回程度、地域資源を活用できるイベント等を企画する。 その際は、必要な人員を確保し実践していく。(F勤務等)	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年12月15日(15:00~)
6.連携・協働	メンバー	小規模多機能ホームスタッフ8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	4人	3人		10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種イベントに参加スタッフ人數を増やし参加の機会を設ける。 ・これまでの地区行事の参加を継続する。 ・地域の子供に向けたイベントを開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	RUN伴やデイサロンなど、参加スタッフを確保し参加できた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	5	4		10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		5	4	1	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	8	1		10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		7	3		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②自治体やその他サービス機関等との会議には管理者が出席している。 ③職員の各地区で参加している。 ④地域高齢者・子供等は、デイサロン・岡留清掃・消防訓練・職場体験・夏祭り・イベント時のボランティアで要請や招待をして関わりをもてている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①その他サービス機関等との連携はとれているが、会議は行えていない。 ③地域の活動やイベントの参加には人員や時間の都合上参加が限られてくるため、参加が難しいことがある。 ④地域の方や子供の訪れる機会が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
これまでの地区行事・イベント等は継続し参加していく。 ・さなえ保育園等、地域の見知りのあるところのイベントに見学等をさせて頂く。(運動会…等)	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年12月15日(15:00~)
7. 運営	メンバー	小規模多機能ホームスタッフ8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?		9人	1人		10人

前回の改善計画
・事業所の在り方については、カンファレンス等でスタッフに周知していく。
・地域行事への参加や関わりを通して小規模多機能居宅介護サービスの役割を感じてもらい、目的意識の向上に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
・カンファレンスやミーティングを通じスタッフへの周知は行えた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	9			10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9			10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9	1		10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		9	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①職員同士が意見を言いやすい環境ができており、上司へも人事考課の面接時等で意見を言える環境がある。 ②③利用者・家族からの要望・苦情・相談等は必ず上司に報告をし、ミーティングや申し送りノート等でスタッフ全員に情報を共有できている。また、必要な改善策も同様に共通認識が行えている。 ・運営推進会議を通じて意見交換ができる。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
③事業所運営に関しては管理者任せになっている。 ・地域の方々からの意見・苦情等を開くことがあまりない。 ④地域と共同していくという働きが少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・運営推進会議やデイサロンでの意見や苦情などの聞き取りを積極的に行う。 ・地域行事への参加や関わりを通して小規模多機能居宅サービスの役割を感じてもらい、意識の向上に努める。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年12月15日（15:00～）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	小規模多機能ホームスタッフ8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか？		8人	2人		10人

前回の改善計画	外部研修への参加は勤務時間の為参加者が少ないのが現状である。参加できるような勤務体制・勤務環境を作り、会社主導で参加できる環境をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	リスクマネジメント委員会の設置

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人數)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	6	2		10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	3	1	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	4	1	10
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		9	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①内部研修を毎月実施し、参加している。 ・外部研修は情報が掲示されており、参加している。 ④リスクマネジメント委員会を設置し、転倒等のヒヤリハットの際は部署ごとに話し合った後、委員会で共有できている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
①外部研修後の伝達講習など、他の事を負担に感じ参加していない。 ④リスクマネジメント委員会からのフィードバックがあまりされていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・時間外研修に対して、会社主体で改善しようと努力している。 ・地域連絡会等、管理者任せにせずスタッフも参加するようにする。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年12月15日(15:00~)
9.人権・プライバシー	メンバー	小規模多機能ホームスタッフ8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人			10人

前回の改善計画	研修参加や内部研修等を行い、日頃のケアを振り返る機会を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	十分に機会を設けることができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	4			10
②	虐待は行われていない	5	4	1		10
③	プライバシーが守られている	3	7			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している		1	4	5	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	9			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②身体拘束・虐待は行っていない。スタッフ個人個人の意識を高く持っている。 ③⑥個人情報・プライバシーに関しても持ち出さないことを理解し、守られている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
②難聴の方もおられるため、排泄確認時に大きな声で言ってしまうことがある。 また、パットを手に持ったままトイレに向かってしまうことがある。 ・利用者のやりたい事や行動を制限してしまうことがある。 ・表情や口調が荒くなってしまうことがある。 ④対象者がいない為、成年後見制度の活用ができない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・身体拘束・虐待・個人情報の取り扱いには、引き続きスタッフ1人1人の意識を高く持ちケアにあたる。 ・尿とりパットの扱いに対しては、専用のケースをトイレに設置し、目につかないよう配慮する。	